

令和3年度 観光事業の主な取組について

今年度は、これまで培ってきた経験や観光関連事業者とのパイプを活かしつつ、デジタルを活用したさらなるネットワークの強化や、区民・事業者が観光の担い手として活躍できる仕組みづくりを進めるなど、アフターコロナ、ポストコロナを見据えた観光政策の推進を通じて、区民生活や区内経済に活気を取り戻すべく、さまざまな取組にチャレンジしてきた。

(1) おおたプライド事業「大田区学」開講 【令和3年度新規】

「大田区学」は、身近にありながら気づかなかった、大田区の歴史・文化・名所・伝統・食といった幅広い分野に存在する奥深い魅力を講座やクイズを通して、時間や場所を選ばず楽しく無料で学べる事業。

毎月、テーマの講座とクイズの配信により、学びと確認ができる仕立てとしており、これらを通して、まちの魅力の再発見を促し、わがまちへの愛着心を高めていただくことで、大田区のPRに繋げ、大田区ファンや区への来訪者を増やしていく。



大田区が「大田」という名称になった理由は次のうちどれでしょうか？



- ① 太田道灌に因んで
- ② 大森と蒲田から文字をとった
- ③ 大鳥居と田圃調布から文字をとった

(2) 区内探訪「はねびよんさんぽ」 【令和3年度新規】

大田区公式PRキャラクター「はねびよん」が区内の観光スポットや商店街などを巡り、各地の自然の風景、そこで培われた人びとの暮らし、そして新たな魅力を動画で発信する事業を開始した。これまで計3回の動画をアップし、多くの視聴を得た。



(3) 大田区観光情報センターの取組

緊急事態宣言により、企画展示を見合わせる一方、SNSによる情報発信強化や地元の店舗に特設コーナーを設け販売支援を行うなど、ウィズコロナに対応した企画を行い、区内経済活性化と地域の魅力発信に注力した。



(4) おおた商い・観光展 2021「あきない三國志プロジェクト」における観光の取組

観光情報センターと大田観光協会は、このイベントにあわせ、定番商品に加えイベントに参加する店舗等の商品を販売するほか、独自の企画も行うことで、地域の活性化を促す取組を実施する。

- ① 観光情報センターによる取組
 - ・参加事業者商品の展示・販売
 - ・冷凍ラーメン自動販売機の設置
- ② 大田観光協会における取組
 - ・大森～羽田スタンプラリー企画



おた商い・観光展ポスター



ラーメン自販機

(5) 東京 2020 大会を契機とした地域活性化事業補助【令和3年度新規】

朝の涼しく密になりにくい時間帯を有効利用し、身近な施設・公園・商店などをベースに地域団体や区民が企画・実施する、安全で健康的に楽しめる観光・地域活性化事業に対して補助を行った。



6：桜館 夏のお盆イベント

採択事業一覧（区予算：100万円）

No	事業名	種別※	交付決定額	実施日
1	E-HOUSEの朝カフェ・朝市	広域	200,000円	11月内の 土日実施
2	朝ヨガ&蒲田温泉黒湯入浴で健康促進	広域	94,500円	11/15
3	廃材とドライフラワーで作る 一輪挿し作り	地域	10,700円	7/4
4	大田区蒲田散策マップ	地域	25,000円	7/1～9/30
5	国際都市おおた歴史探訪マルシェ	地域	100,000円	11/7
6	桜館 夏のお盆イベント	地域	100,000円	10/16
7	涼しい朝の時間帯に商店街を お買いまわりキャンペーン【中止】	地域	100,000円	10/14-11/14
8	蒲田東口グッドモーニング	地域	100,000円	コロナ禍で中止
9	やろうよ「ポッチャ」 朝から元気に町おこし	地域	100,000円	コロナ禍で中止
合計			830,200円	

※広域事業：補助上限20万円（補助率1/2）、区内・外の来訪者向け

※地域事業：補助上限10万円（補助率1/2）、地域住民向け

(6) 大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の広報活動

昨年同様、直接的なイベント出演の機会は、大きく減少したものの、昨年以上にオンライン配信のイベントが増え、リモートでの出演をした他、SNSを積極的に活用し、ワクチン接種促進や羽田ヴィッキーズとのコラボなど民間・行政問わずにPRを行った。

また、利用申請の手順を簡素化し、より使いやすい仕組みへと工夫した結果、コロナ禍にもかかわらず、昨年対比で3割の件数増となった。



大田区龍子記念館 葛飾北斎展



HICity 自動運転走行実験

(7) 大田区MICEの推進

この度、HICityを会場に（公財）日本臨床工学技士会の実技研修が10月からスタート。毎週末、全国から受講生が研修を受け、医療の最前線での活躍が期待されている。

区は、この研修の実施を契機に、産業経済部、観光・国際都市部、産業振興協会が連携し、「OTA MEDICAL MICE PROJECT」を立ち上げ、参加者に「泊まる」「食べる」「買う」「楽しむ」といった区内の様ざまな情報を提供することで、研修が円滑に進むようサポートするとともに、HICityから区内経済に波及効果を創出する礎としていく取組を行った。



Web サイトトップページ

(8) 大田観光協会事業

観光協会では、マイクロツーリズムの推進に基づき、区民が安全で楽しく参加できるイベントの実施に取り組んだほか、様ざまな主体と連携して地域を活性化させる事業に注力している。

① 「おおたの桜を楽しもう 2021」

密にならない少数でのお散歩の際に活用いただける区内の桜に関する魅力紹介

② 「カヌー&カヤック教室」

③ 「おおたオープンファクトリー」

④ 「品川・大田交差するまち

～旗の台、荏原町、洗足池、長原～

大田・品川の両区・両協会による連携事業



④のポスター